

未侵入であるクビアカツヤカミキリについて、**早期発見**、**早期防除する**ための計画。警戒すべきエリアを設定するとともに、各関係機関の役割や巡視体制、被害発生時の対応等について明記する。



## クビアカツヤカミキリとは・・・

- ・県内未確認の外来カミキリムシ
- ・幼虫がバラ科の樹木（サクラや桃、梅等）を好み、幹を食い荒らす。
- ・全国15都府県で被害が確認されており、隣県の栃木県、茨城県、群馬県でも被害が発生している。
- ・外来生物法に基づき運搬等が規制される「特定外来生物」に指定されている。



隣接市町村のうち  
栃木県大田原市と  
日光市でも  
分布を確認している

## 各主体の役割

### 県の役割

- ・被害状況の把握
- ・関係者との情報共有
- ・住民への普及啓発、研修会の開催
- ・住民や団体の対策支援
- ・県管理施設等における適切な監視・防除

### 市町村の役割

- ・被害状況の把握
- ・普及啓発
- ・市町村管理施設等における適切な監視・防除
- ・住民への防除指導

### 県民の皆様 お願いしたいこと

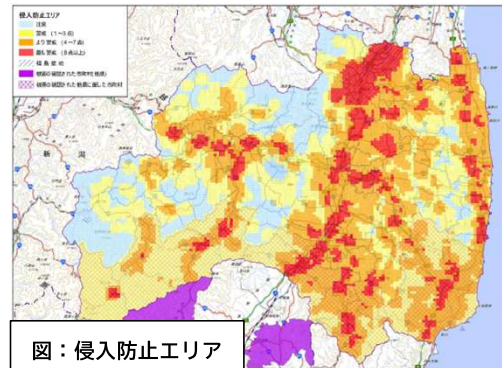
- ・情報提供
- ・自ら管理する樹木の監視
- ・身近な場所にある桜等の監視

## 早期発見

クビアカツヤカミキリの侵入のおそれが高い地域を4つの**警戒エリア**に分類し設定

（地理的要因・環境的要因）

上記警戒エリアについては、関係機関において**巡視を強化**する。  
（年間の定期巡視のほか、短期集中的な監視キャンペーンも実施する）



| 警戒エリア | 巡視頻度の目安     |
|-------|-------------|
| 最も警戒  | 年3回程度       |
| より警戒  | 年2回程度       |
| 警戒    | 年1回程度       |
| 注意    | 可能な範囲で年1回程度 |

## 早期防除

- クビアカツヤカミキリや疑わしい痕跡を発見したら、速やかに県へ報告し、関係機関で情報共有。
- 駆除方法は、最も効果的な**伐採処理を優先的に実施**。
- 伐採が難しい場合は掘り取り、薬剤処理、ネット巻等の複数の対策を実施。

## 被害発生地域の巡視強化

被害地点から**半径2km程度の範囲において巡視を強化**

※年3回、巡視を実施

※2年連続で被害が確認されなければ、通常の巡視回数へ戻す